

感染症定期報告感染症別文献一覧表(2021/4/1~2021/7/31)

令和3年11月19日
令和3年度第2回
医薬品等安全対策部会
資料 3-1

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	インフルエンザ	Jpn J Infect Dis. 73(2020)336-342	2013年から2014年にインドネシアで家禽から分離された3種の鳥インフルエンザウイルス株(A/H5N1Av154 clade 2.3.2.1c、A/H5N1Av240 clade 2.1.3.2b及びA/H3N6 Av39)をBALB/cマウスに接種した。罹患率及び死亡率を評価するために、毎日体重を測定し、20日間の生存率を監視した。Av154及びAv240に感染したマウスは、7日目までに開始時の体重から25%減少したが、Av39に感染したマウスに同様の傾向はみられなかった。Av154に感染したマウスの大部分は8日目に死亡し、Av240に感染したマウスの大部分は20日目まで生存した。マウスの50%致死量(50% ege infectious doses)は、Av154は 2.0×10^1 、Av240は 1.1×10^5 、Av39は $>3.2 \times 10^6$ と算出された。Av154ウイルスは、マウスで非常に毒性が高く致命的であることから、哺乳類においても高い病原性の可能性が示唆された。Av240ウイルスは非常に毒性があったが中程度の致死性で、Av39ウイルスは毒性も致死性もなかった。アミノ酸残基のいくつかの哺乳類適応マーカーは、Av154ウイルスの非常に毒性が高く致命的な表現型と関連していた。
2	インフルエンザ	ProMED-mail 20210221.8204014	家禽からヒトに感染した鳥インフルエンザ株H5N8の症例が初めて報告された。ロシア南部の家禽工場の従業員7例は、2020年12月の同工場におけるアウトブレイクでH5N8株に感染していた。ここ数カ月間、ロシア、欧州、中国、中東及び北米でH5N8株のアウトブレイクが報告されているが、いずれも家禽のアウトブレイクのみであった。他の株H5N1、H7N9及びH9N2はヒトに感染することが知られている。
3	鳥インフルエンザ	HPS Weekly Report. 55(2021) 0902	2021年2月20日、ロシア連邦当局はロシア南部の養鶏場における労働者の鳥インフルエンザA(H5N8)ウイルス感染例7例を報告し、欧州疾病予防管理センターが評価を公表した。
4	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20210228.8217634	2021年2月18日、ロシア連邦は世界で初めてとなるヒトでの鳥インフルエンザA(H5N8)感染例を報告した。アストラハン州の養鶏場の労働者7例(年齢範囲は29歳から60歳、うち5例は女性)のヒト臨床検体から鳥インフルエンザA(H5N8)が検出されたことを世界保健機関に通知した。
5	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20210602.8416833	2021年6月2日、中国北京市国家卫生健康委員会は中国東部江蘇省の41歳男性が鳥インフルエンザA/H10N3型ウイルスに感染したことが遺伝的解析によって初めて確認されたと発表した。
6	鳥インフルエンザ	WHOホームページ. https://www.who.int/csr/don/26-feb-2021-influenza-a-russian-federation/en/	2021年2月18日、ロシア連邦は世界で初めてとなるヒトでの鳥インフルエンザA(H5N8)感染例を報告した。アストラハン州の養鶏場の労働者7例(年齢範囲は29歳から60歳、うち5例は女性)のヒト臨床検体から鳥インフルエンザA(H5N8)が検出されたことを世界保健機関に通知した。

ID	感染症(PT)	出典	概要
7	鳥インフルエンザ	World Health Organization Regional Office for Europe. https://www.euro.who.int/en/countries/poland/news/news/2021/3/avian-influenza-ah5n8-infects-humans-in-russian-federation	2021年2月18日、ロシア連邦は世界で初めてとなるヒトでの鳥インフルエンザA(H5N8)感染例を報告した。アストラハン州の養鶏場の労働者7例(年齢範囲は29歳から60歳、うち5例は女性)のヒト臨床検体から鳥インフルエンザA(H5N8)が検出されたことを世界保健機関に通知した。
8	ダニ媒介ウイルス脳炎	Clinical Infectious Diseases. https://academic.oup.com/cid/advance-article/doi/10.1093/cid/ciaa738/5857602	米国からの輸血によるポワッサンウイルス性脳炎に関する報告。ダニ曝露歴のない腎移植患者が移植の3週間後に脳炎を発症した。当該症例は、移植に備えて入院中に無症状の供血者からの輸血を受けたが、当該供血者はポワッサンウイルスに感染していたことが後日判明した。米国疾病予防管理センターはポワッサンウイルスは輸血によって感染する可能性がある」と報告している。
9	エボラ出血熱	National Institute of Allergy and Infectious Diseases (NIAID). https://www.niaid.nih.gov/news-events/reston-ebolavirus-spreads-efficiently-pigs?utm_campaign=+45243222&utm_content=&utm_medium=email&utm_source=govdelivery&utm_term=	レストンエボラウイルスに感染した実験用子ブタが重度の呼吸器疾患を発症し、上気道からウイルスを排出することが確認された。レストンエボラウイルスはヒトに感染する可能性があるが、病気を引き起こすことは知られていない。ブタが「エボラウイルスの暫定的又は増幅宿主」として働く可能性がある。
10	COVID-19	BMJ. 372(2021)n579	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株であるVOC-202012/1は、他変異株と比較して死亡リスクが増加する可能性が高いことが示唆された。
11	COVID-19	Laryngoscope. 131(2021) E1677-E1682	中国武漢市で、38例の症候性及び無症候性の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者由来の鼻腔咽頭/口腔咽頭スワブ、唾液、涙及び耳垢のサンプルを調査した結果、いずれの検体からもSARS-CoV-2 RNAが検出された。耳垢よりSARS-CoV-2 RNAを検出した初の報告である。
12	COVID-19	ProMED-mail 20201224.8043651	SARS-CoV-2の変異株の検出状況について報告された。
13	COVID-19	ProMED-mail 20210211.8184805	認知症患者は、認知症でない患者よりもSARS-CoV-2感染による入院リスク及び死亡リスクが高いことが報告された。
14	SARS-CoV-2ウイルス血症	Transfusion. 60(2020)3046-3054	PubMedで検索された、血液中のSARS-CoV-2 RNA検出に関する論文23報を分析した総説である。これまでのところ、輸血によるSARS-CoV-2感染症例は報告されていないこと、また、血液中のRNA量や感染性の研究から、輸血によるSARS-CoV-2感染リスクは理論上に留まっていると示唆されたとの報告である。
15	ウイルス感染	Nat Med. 27(2021) 434-439	中国北東部の黒竜江省でダニ咬傷の患者から、オルソナイロウイルスの新種が特定され、暫定的にSongling ウイルス(SGLV)と呼称された。過去のダニ咬傷患者の検体からも42例でSGLVが確認された。臨床症状として頭痛、発熱、抑うつ、倦怠感及び眩暈を呈した。また、患者の3分の2以上(69%)が急性期にウイルス特異的抗体陽性となった。オルソナイロウイルスの新種が中国のヒトの発熱性疾患に関連していることの報告である。

ID	感染症(PT)	出典	概要
16	クロイツフェルト・ヤコブ病	Ann Clin Transl Neurol. 7(2020) 932-944	sporadic Creutzfeldt-Jakob disease (sCJD)患者由来の脳脊髄液検体、嗅粘膜ブラッシング検体及びsCJDプリオンをseedしたRT-QuIC反応の産物における感染性を評価した研究である。嗅粘膜ブラッシングの不溶性ペレットは感染性を示し、脳脊髄液検体は感染性を示さなかった。sCJDプリオンをseedしたRT-QuIC 反応の産物も感染性を示さなかったとされる。
17	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Weekly Disease Information. 2021/01/07	2020年12月22日、マドリードのAlgetelにある中央獣医学研究所はラリオハの動物衛生地域研究所より、牛海綿状脳症(BSE)に感染している疑いのある神経組織サンプルを受け取った。イムノブロットングにより、非定型BSE(H型株)が確認された。このサンプルは、生後48カ月以上の動物を対象とした伝染性海綿状脳症(TSE)サーベイランスプログラムで採取されたもので、当該種は、2003年4月20日に生まれた交雑種のウシであった。
18	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20210420.8318127	2020年12月22日、マドリードのAlgetelにある中央獣医学研究所はラリオハの動物衛生地域研究所より、牛海綿状脳症(BSE)に感染している疑いのある神経組織サンプルを受け取った。イムノブロットングにより、非定型BSE(H型株)が確認された。このサンプルは、生後48カ月以上の動物を対象とした伝染性海綿状脳症(TSE)サーベイランスプログラムで採取されたもので、当該種は、2003年4月20日に生まれた交雑種のウシであった。
19	レンサ球菌感染	Outbreak News Today. http://outbreaknewstoday.com/thailand-reports-340-streptococcus-suis-cases-in-2020/	タイにおいて、豚連鎖球菌感染が認められた。2020年12月22日までに、12例の死亡を含む340例が報告されている。生の豚肉と血を用いた料理を食べることで適切な保護をせずに豚と密に接触することで発生しているとされている。
20	非定型マイコバクテリア感染	結核. 96(2021)124	日本の70歳女性において、 <i>Mycobacterium talmoniae</i> が検出された。 <i>Mycobacterium talmoniae</i> は肺感染症をきたしうる病原抗酸菌であることが示唆された。
21	クロストリジウム・ディフィシル感染	日本化学療法学会雑誌. 68(2020)557-562	日本の動物における <i>Clostridioides difficile</i> (<i>C. difficile</i>)の保有状況と <i>C. difficile</i> 感染症との関係を明らかにすることを目的として、調査が行われた。出荷直前のブタの糞便250検体のうち2検体、子ブタの糞便120検体のうち69検体、ブタ農場の完熟堆肥14検体のうち5検体から <i>C. difficile</i> が分離された。また、イヌの糞便204検体について <i>C. difficile</i> 保有状況を調べたところ62検体が陽性を示した。
22	ムコール症	Diagn Microbiol Infect Dis. 98(2020)115106	ドイツにおいて、ヒト免疫不全患者における致死的な <i>Rhizomucor miehei</i> 心内膜炎の症例が初めて報告された。

ID	感染症(PT)	出典	概要
23	細菌感染	The Independent. https://www.independent.co.uk/news/world/af-rica/chimpanzees-covid-virus-bacteria-b1797836.html	2005年以来、タクガマ保護区において、絶滅の危機に瀕している約56頭の西洋チンパンジーが未知の病気で死亡した。この病気は自然保護区のチンパンジーにのみ影響を及ぼした。症状は、嘔吐及び下痢から始まり、胃の膨満感でよめくようになった。国際的な研究チームは、この病気を「流行性神経及び胃腸症候群」と名付けた。5年間の研究の結果、この疾患は新たに発見されたSarcina属の細菌種Sarcina troglodytaeと関連付けられている。この疾患はヒトにおいては発見されていないものの、ヒトとチンパンジーが遺伝子構成の98.8%を共有しているため、ヒトに感染する可能性があることが示唆された。
24	真菌感染	日本化学療法学会雑誌. 69(2021)284	日本において、 <i>Blastobotrys mokoennai</i> によるヒト感染例が初めて報告された。8歳の女児で、卵黄のう腫瘍治療後、徐々に増悪する全身の紅斑、発熱、腹痛及び下痢で医療機関を受診した。ショック及び多臓器不全を認め、マクロファージ活性化症候群の診断で入院となった。血漿交換、持続血液濾過透析及びステロイド治療に加えて、非典型型HUS疑いでエクリズマブが投与されたが改善は乏しかった。第22病日の血液培養2セットから酵母様真菌が検出され、菌糸、分節型分生子及び出芽型分生子の混在を認めることから <i>Trichosporon</i> 属を疑い、第24病日からポリコナゾールが投与された。持続真菌血症を認めカテーテル関連血流感染症が疑われたが、第32病日に死亡退院となった。後日ITS領域シーケンス解析により <i>Blastobotrys mokoennai</i> と同定された。
25	クリプトスポリジウム感染	Parasitol Int. 79(2020)102163	トルコにおいて、若い反芻動物が保有するクリプトスポリジウムの遺伝子型及びサブタイプを調査するため、下痢性糞便検体(415検体)の配列分析を行った。その結果、検体の25.6%(106検体/415検体)でクリプトスポリジウム属菌が陽性であることが明らかとなった。子ウシ、子ヒツジ及び子ヤギでは、それぞれ27.4%(91検体/333検体)、19.4%(13検体/67検体)及び13.4%(2検体/15検体)の陽性が確認された。SSU rRNAの遺伝子型は、 <i>C.bovis</i> の子ウシ1頭を除いて、ほぼすべての陽性検体が <i>C.parvum</i> のものだった。60 kDa糖タンパク質遺伝子の配列分析により、 <i>C.parvum</i> の最も一般的な人獣共通感染症のサブタイプ (IIaおよびIIc) が明らかとなった。
26	クリプトスポリジウム感染	Trop Med Health. 48(2020)97	イランにおいて、クリプトスポリジウム動物種に関する系統的レビュー及びメタ分析が実施された。さまざまなクリプトスポリジウム動物種がイラン多数の地域で発見されている。クリプトスポリジウム症は人獣共通感染症であり、動物だけでなく人間にも病気を引き起こし、経済的損失をもたらす可能性がある。
27	トキソカラ症	Parasitol Res. (2021)doi:10.1007/s00436-021-07115-w	神奈川県の新潟トリ50羽の胸肉、もも肉及び肝臓用いて、光学顕微鏡下でトキソカラ幼虫の数を計測した。50羽中2羽(1羽は胸肉、もう1羽はもも肉)からトキソカラ幼虫が検出された。胸肉由来の幼虫は <i>Toxocara tanuki</i> 、もも肉由来の幼虫は <i>Toxocara cati</i> と同定された。鳥類から <i>Toxocara tanuki</i> が検出されたのはこれが初めてである。

ID	感染症(PT)	出典	概要
28	感染	CBC/Radio-Canada ホームページ. https://www.cbc.ca/news/canada/new-brunswick/mystery-neurological-disease-nb-coulthart-1.5959280	カナダ、ニューブランズウィック州北東部のAcadian peninsulaで原因不明の神経疾患35例及び南東のMoncton地区で8例が報告され、5例が死亡している。初症例は2015年、2019年に11例、2020年に24例、2021年に入り6例が報告されている。患者数に男女差は無く、全年齢層にわたるが、約半数が50～69歳である。症状は、行動の変化、睡眠障害、説明のつかない疼痛、幻覚、共同運動失調、重度の筋委縮、重度の脳委縮等で、クロイツフェルト・ヤコブ病とよく似ている。感染性は不明である。